

整理番号 S-5

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 たて縞(精練不良)

品 名 絹八掛織物

試料形態 織物

組 織 平

糸 使 い

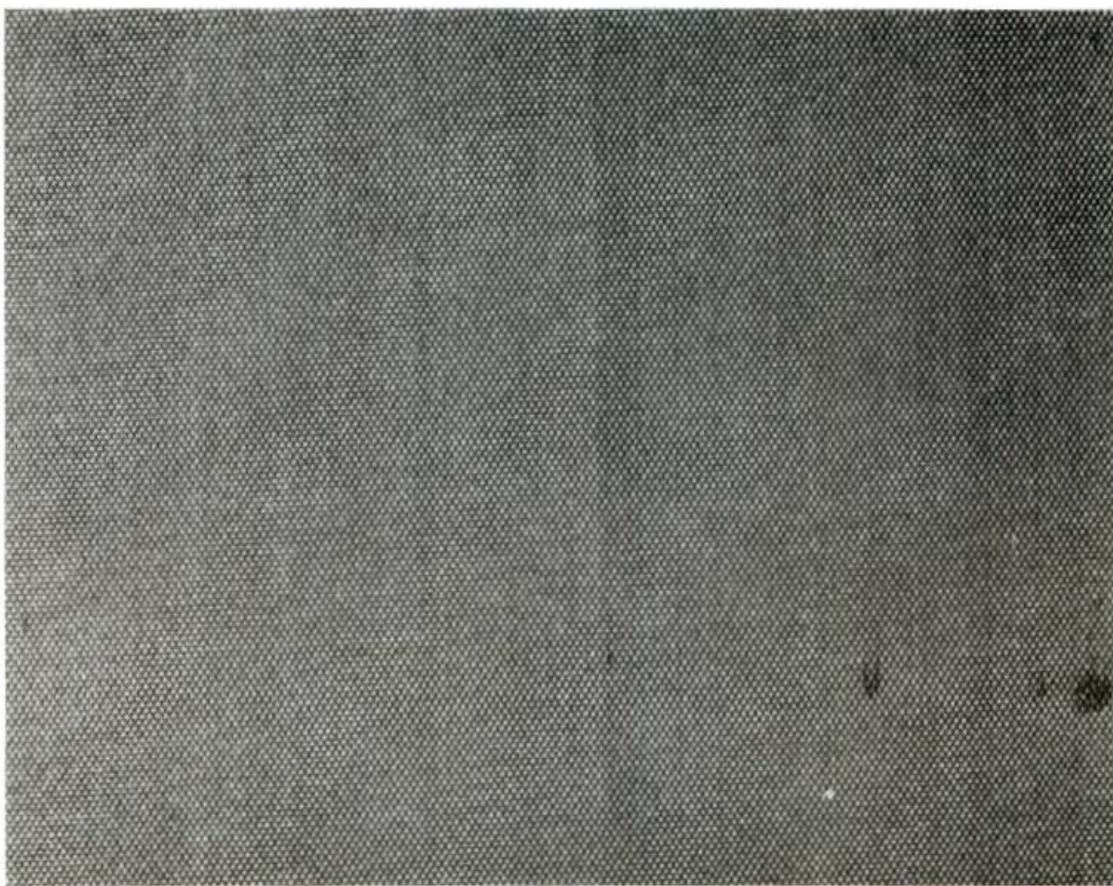
たて糸:先練先染絹糸

よこ糸:先練先染絹糸

欠点発生状況

織物の全面に、たて糸が濃淡の色相差を生じ、たて縞が現われている。

試料写真



試験結果

(1)脱色、染色試験

・ハイドロサルファイト及びソーダ灰による脱色後、酸性染料により染色をした結果、目立たなくな
ったが、依然としてたて縞が見られる。

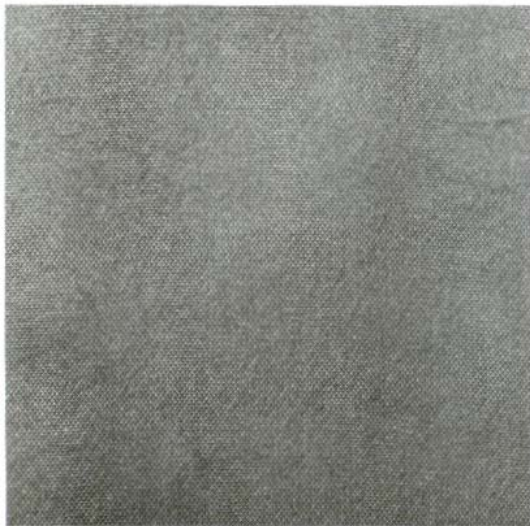


写真 1. 脱色後直ちに染色

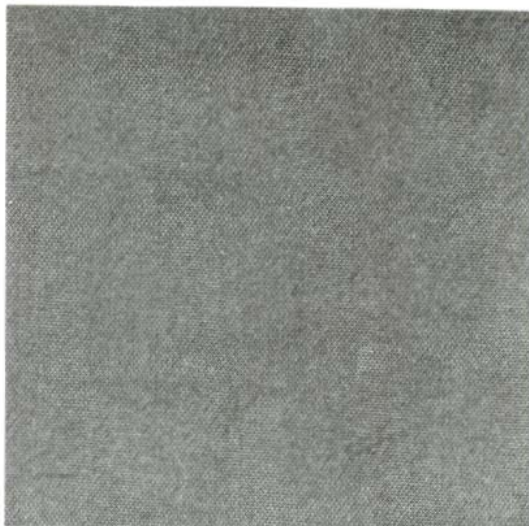


写真 2. 脱色後精練して染色

(2)脱色、洗練、染色試験

・脱色後に精練し(マルセル石けん、ケイ酸ソーダ、ソーダ灰)、その後に同様に染色した結果、た
て縞は完全に消失した。

所 見

生糸を先練りする際に精練が不均一に行なわれたためにセリシンの脱落斑を生じ、これが染
料の染着性に差を生じさせて、たて縞の原因となったものであると考えられる。
